

(1) 実施機関名：

海上保安庁

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文） 驗潮

（英文） Tidal Observation

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 本課題の5か年の到達目標：

海上保安庁が所管する常設驗潮所において、継続的に驗潮データを収集し、地殻変動把握のための基礎データとする。

各驗潮所設備を健全に維持すると共に、定期的な測定や測量により観測基準面の維持を行い、データの連続性を保つ。

(6) 本課題の5か年計画の概要：

継続して全国20カ所の常設驗潮所において潮汐観測を実施し、国土交通省水管理・国土保全局および港湾局、国土地理院、気象庁と連携し、驗潮データをリアルタイムでインターネットにより公開する。
海上保安庁所管の驗潮所：竜飛、釜石、横浜、横須賀、千葉、三宅島、神津島、八丈島、徳山、広島、呉、大分、博多、佐世保、厳原、粟島、大泊、西之表、中之島、名瀬。

(7) 令和6年度の成果の概要：

・今年度の成果の概要

全国20カ所の常設驗潮所において潮汐観測を実施し、国土交通省水管理・国土保全局および港湾局、国土地理院、気象庁と連携し、驗潮データをリアルタイムでインターネットにより公開した。

海上保安庁所管の驗潮所：竜飛、釜石、横浜、横須賀、千葉、三宅島、神津島、八丈島、徳山、広島、呉、大分、博多、佐世保、厳原、粟島、大泊、西之表、中之島、名瀬。

・「関連の深い建議の項目」の目的達成への貢献の状況と、「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望

平時及び災害時に、状況を把握するための基礎資料として活用されており、今後も必要な観測である。

(8) 令和6年度の成果に関連の深いもので、令和6年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

・論文・報告書等

・学会・シンポジウム等での発表

(9) 令和6年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報：

(10) 令和7年度実施計画の概要：

全国20カ所の常設験潮所において潮汐観測を実施し、国土交通省水管理・国土保全局および港湾局、国土地理院、気象庁と連携し、験潮データをリアルタイムでインターネットにより公開する。

海上保安庁所管の験潮所：竜飛、釜石、横浜、横須賀、千葉、三宅島、神津島、八丈島、徳山、広島、呉、大分、博多、佐世保、厳原、粟島、大泊、西之表、中之島、名瀬。

(11) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

南部 正裕（海上保安庁 海洋情報部 沿岸調査課）、林王 弘道（海上保安庁 海洋情報部 沿岸調査課）
他機関との共同研究の有無：無

(12) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：海上保安庁 海洋情報部 沿岸調査課

電話：03-3595-3636

e-mail：

URL：<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

(13) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：南部 正裕

所属：海上保安庁 海洋情報部 沿岸調査課